



# 六甲カトリック教会 教会報

5

No. 605

ようこそ！ 英神父さま 新任の英主任司祭のご挨拶です。

＋主イエス・キリストの復活おめでとうございます。

このたび、六甲教会に赴任してきた英隆一郎（はなふさ りゅういちろう）神父です。皆さん、よろしくお願いします。

もともと神戸生まれの神戸育ちです。高校生の頃、六甲教会に出入りして、当時の主任司祭薄田昇神父の勉強会に出たことが最初のかかわりです。高校卒業して、東京の大学に進学しました。それと同時に、薄田神父は東京のイグナチオ教会の主任司祭に転任されました。その後、薄田神父は大阪釜ヶ崎にある旅路の里の責任者に赴任されました。それがきっかけで私も旅路の里に出入りするようになり、社会問題にかかわりを深めました。



大学院時代にイエズス会に入会し、1993 年司祭叙階を受けました。2001 年から、今度私自身が旅路の里 2 代目の責任者となり、その頃、週末は六甲教会の手伝いをしていました。その頃出会った方々も多いと思います。

その次の使徒職は、黙想指導になりました（東京と鎌倉の黙想の家で 10 年間ほど）。その間、内山さんという熱心な信徒の要望によって、六甲教会で「祈りの道場」と呼ぶ 1 日黙想会を 25 回ほど開催しています（年に 3 回くらい）。その黙想会に参加された方もおられるでしょう。

その次に教会使徒職に派遣され、直前までイグナチオ教会で働いていました。六甲教会は何かと縁がありましたが、今回は主任司祭として派遣されることになりました。教会で働くのは、六甲教会が 2 番目となります。教会の仕事が主ですが、釜ヶ崎の旅路の里の責任者も兼務します。

教会の年間予定表を見ますと、「六甲教会の祈り」というすばらしい祈りがあるのが分かりました。まずは、この祈りの内容を深めて、皆さんとともにどのように実行に移すかを考えていきたいです。

なお、名前を覚えるのがとても苦手な上（記憶力が極端に弱い）、皆、マスクをしておられるので、顔を覚えることもできない状態です。名前と顔を覚えるのはとても時間がかかるでしょう。

とにかく、これから皆さんと共に歩んでいきたいです。どうぞよろしくお願いします。

英 隆一郎（はなふさ りゅういちろう）

## 新年度小教区評議会議長ご挨拶

宗行孝之介



2022 年度の評議会議長を仰せつかりました宗行孝之介です。私は 37 年間 YMCA (旧キリスト教青年会) に勤務をしております。定年退職後は大阪女学院というミッション系学校で勤務したのち現在は主夫業をしております。自宅は六甲教会から歩いて数分の曾和町 2 丁目にあります。

実は先般帰天した父忠雄、春子はもともとプロテスタントの信徒で、私と言えば教会には通っていましたが、信仰は持ち合わせておらず特に学生時代は登山に明け暮れておりました。何度か死に損なった結果、思うところがあり洗礼を受けたのは 1982 年 2 月神港教会です。その後、導きにより中山手教会に通うようになり、1992 年のクリスマスにオルタゾン神父様から堅信を授かりました。翌年にムジカ神父様の司式により結婚しましたが、その後単身赴任等が重なり小豆島教会や桜町教会、聖イグナチオ教会などのミサに与っております。六甲教会に通いだしたのは 10 年ほど前からになりましょうか。さらに、本職が青少年相手のキャンプや野外活動で、日曜祝日、学校のお休み期間はすべて仕事でしたので後年本部勤務となるまではほとんど教会生活を守ることができませんでした。その代わりといっは何ですが、母子家庭状態の家族は教会学校やグループ、そしてかつての小百合児童館にお世話になり、息子娘共に幼児洗礼を受け、また妻が 2004 年に受洗に至ったのは本当に感謝です。

というわけで、私の六甲教会生活は決して長いものではありません。十分な知識、経験を持ち合わせてはおりませんので皆様には種々ご迷惑をおかけするかもしれませんが、精一杯努力してゆく所存ですので、ご指導も含めてどうぞよろしくお願いいたします。

### 2022 年度 小教区評議会 役員・評議員

|               |              |                   |       |
|---------------|--------------|-------------------|-------|
| 主 宰           | 主任司祭 英 隆一朗   |                   |       |
| 議 長           | 宗行 孝之介       |                   |       |
| 副議長           | 三垣 恭子、 堤 福生  |                   |       |
| 書 記           | 大上 尚子、 多田 純子 |                   |       |
| 評 議 員         |              |                   |       |
| 信 徒 会（各会会長など） |              | 専 門 部 会（コーディネーター） |       |
| 三日月会          | 蛭田 武         | 典 礼 部             | 中西 裕樹 |
| 壮 年 会         | 林 和俊         | 宣 教 部             | 松平 麻也 |
| 婦 人 会         | 藤井 敦子        | 養 成 部             | 松平 麻也 |
| 青 年 会         | 押谷 友望        | 社会活動部             | 井川 伸子 |
| 中高生会          |              | 広 報 部             | 詫 洋一  |
| 教会学校          | 吉村 祐基        | 施設管理部             | 本下 稔  |
| 地 区 会         | 井川直哉(役員代表)   | 財 務 部             | 蛭田 武  |

## 2022 年度 地区会 役員

|        |          | 地区長<br>ブロック長 | 副地区長  | 副地区長   |
|--------|----------|--------------|-------|--------|
| 7 地区   | 灘北 1     | 中村 節子        | 長島 久子 | 福島 きよ子 |
|        | 灘北 2     | 藤井 敦子        | 千原 裕  | 久野 万里子 |
|        | 灘南       | 三垣 恭子        | 熊澤 加代 | 國賀 めぐみ |
|        | 灘西・中央    | 王子 麗花        | 島本 郁子 | 石 万里子  |
|        | 東灘北 1    | 尾崎 浩子        | 佐藤 秀聡 | 多田 純子  |
|        | 東灘北 2・芦屋 | 井川 直哉        | 米村 純一 | 野村 壽子  |
|        | 東灘南      | 林 和俊         | 林 聖子  | 林 久仁子  |
| 3 ブロック | 神戸西      | 田中 雅子        | 阪神    | 大上 尚子  |
|        | 北・三田     | 梅田 知子        |       |        |

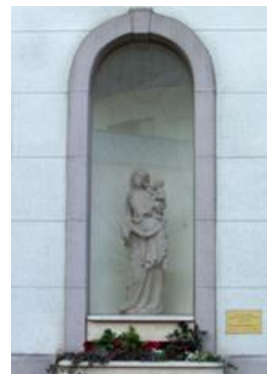


### 黙想会のお知らせ (5 月 21 日)

指導：英 主任司祭

テーマ：「六甲教会の祈り」について

- ◇14:45 受付
- ◇15:00 第一講話と黙想
- ◇16:00 第二講話と黙想
- ◇17:00 第三講話と黙想（ミサ準備）
- ◇18:00 主日ミサ



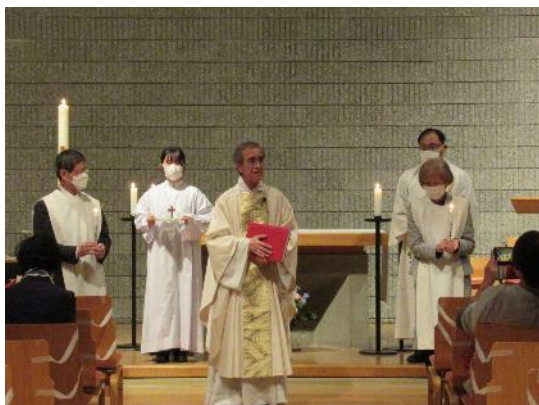
### 六甲教会の祈り(全文)

父なる神よ、  
 私たち六甲共同体がロヨラの聖イグナチオの霊性を生き、「すべてを吟味して」何が神の御旨であるかを識別し、「すべてにおいて神を見出す」ことができるように祈る心を持たせてください。  
 私たちがキリスト者として、真の愛と深い交わりを求めて、互いに理解し合い、愛し合い、赦し合い、助け合う共同体となることができますように。  
 地域・文化・言語・社会的立場の枠をこえて、司祭・修道者・信徒が一致し、共に働き、教皇フランシスコが求めている「出向いて行く教会」を実現する勇気をお与えください。  
 私たちひとりひとりがおかれている場所で、知らずに福音を求めている人、助けを必要としている人、困難な状況におかれている人、隅に追いやられている人に手を差し伸べて、「共に喜び、共に泣く人」としてください。  
 私たちはイエスの弟子であり、遣わされた者であることに気づき、心にまかれた喜びの福音を多くの人に伝えることができますように。 アーメン。

## 今年の聖週間

4月10日の枝の主日にはじまり、17日に復活主日を迎えることしの聖週間は、「コロナ態勢」を維持したままなんとか無事終えることが出来ました。聖木曜日、金曜日、復活徹夜祭は17時、19時の二部制にしてグループ別に与り、枝ならびに復活の主日は従来の7時30分、10時、11時30分のグループシフトと同様にして開かれました。枝の行列は行われず、盛式共同祈願、復活のろうそく、復活讃歌なども簡略式でしたが、二部制のゆえ時間制限の中、やむを得ない司式であったと思います。アルフレド主任司祭をはじめ典礼部の方々の工夫や知恵によってミサがとどこおりなく行われたことになります。感慨深い聖週間となりました。

17日の復活の主日はアルフレド神父の主任司祭としての主日最後のミサとなり、11時半の最終ミサでは新旧並んでの評議会議長から記念品料が贈呈され、満場のあたたかい拍手のうちにミサを終えられました。お天気も回復し、闘病生活を送っておられる信徒の方もひさしぶりにお顔を見せられたり、ご復活おめでとう、のご挨拶があちこちで飛び交いました。マスクはまだ手放せませんが、信徒の交流が少し回復したような気持ちになりました。なお、復活徹夜祭のミサではお二人が受洗され、新しい喜びとなりました。



▲受洗のお二人



▲アルフレド神父最後の復活の祝福

## 今月の聖人 聖ジャンヌダルク

フランス北部ルーアンに聖ジャンヌダルク教会があります。1979年建立の新しい建物ですが、見事なステンドグラスは、16世紀のもので、フランスがイングランドと戦った15世紀の百年戦争で、劣勢のフランス軍を救った少女・ジャンヌダルクはフランスの守護聖人とも言われています。弱気な王シャルル7世を助け、勇ましい戦いと指揮官ぶり、果敢にイングランド軍と戦って勝利を収めたジャンヌ



は、のちに裏切りのために捕獲され、さらに陰湿な異端審問にさらされ、ついには火あぶりの刑に

処せられます。魔女の疑いまで被せられたジャンヌは、1909年に列福、1920年5月に列聖されて復権しました。記念日は5月30日とされています。無垢な少女が天使のお告げを受け、男装して戦いに挑み国を救う、という特異なケースへの列聖と言えるでしょう。画像は16世紀初めのジャンヌを描いた装飾写本とジャンヌダルク教会のステンドグラスです。



(詫 洋一 記)



## 《初聖体のよろこび》



4月24日(日)11:30のミサで初聖体のこどもたちが、英神父さまからご聖体を受けました。待ちに待った初聖体です。はじめていただくご聖体の味はどんなだったでしょうか。神父さまはご聖体の意味をやさしくお話されたあと、並んだ6人のこどもたちにひとりひとりお声をかけながらご聖体を授けられました。

奉納のときは『五つのパン』、拝領の時は『マラナタ』、閉祭では『Walk in the light』が高らかに演奏され、お御堂は拍手に包まれました。初聖体のこどもたちは次の方々です。(五十音順)

|             |        |
|-------------|--------|
| マリア・エリザベト   | O・・・さん |
| ルカ          | K・・・さん |
| セシリア        | S・・・さん |
| アッシジのフランシスコ | H・・・さん |
| ミシェール       | H・・・さん |
| インマニエル      | M・・・さん |



## ♪ 祈りと音楽の集い ♪

- ◇開催日：6月5日(日) 14:30～
- ◇テーマ：聖霊降臨祭のオルガン音楽
- ◇演奏：川越聡子さん  
(東京芸術劇場副オルガニスト、  
洗足学園音楽大学講師)
- ◇会場：主聖堂



コロナ感染予防のため入場者数が限られます。整理券を発行しますので、詳しくは典礼部音楽チームのチラシ、ポスターをご覧ください。

## 5月主日ミサのグループ別時間割(10:00, 11:30)

※ミサの時間については教会からの最新の情報にご注意下さい

|        |                        |        |                                    |                        |        |
|--------|------------------------|--------|------------------------------------|------------------------|--------|
| 1日(日)  | 10:00                  | 第1グループ | 22日(日)                             | 10:00                  | 第2グループ |
|        | 11:30                  | 第2グループ |                                    | 11:30                  | 第1グループ |
| 8日(日)  | 10:00                  | 第2グループ | 29日(日)                             | 10:00                  | 第1グループ |
|        | 11:30                  | 第1グループ |                                    | 11:30                  | 第2グループ |
| 15日(日) | 10:00                  | 第1グループ | ※その他の時間(土曜日18時、日曜日7時半)は地区を問わず与れます。 |                        |        |
|        | 11:30                  | 第2グループ |                                    |                        |        |
| 第1グループ | 灘北1、北・三田、灘北2・阪神、灘南、神戸西 |        | 第2グループ                             | 灘西・中央、東灘北1、東灘北2・芦屋、東灘南 |        |

# 趣味百景

## 手仕事大好き

川合 襟子



手仕事の中でもパッチワークキルトとの付き合いは 40 年以上になりました。その出会いは、当時駐在生活から

帰国された方にパッチワークの手ほどきを受けたのが始まりでした。若い頃から見ていた洋画のホームドラマや西部劇にでさえ寝室のベッドにかけられていたキルトのベッドカバーがとても素敵で印象的だったのが深く記憶に残っていました。子供たちが学齢期になり少し手が離れ自由になる時間が出来たこともあり、すっかりのめりこんでいきました。細かくカットした布きれをつなぎ合わせ、新らしく生まれる色と柄のハーモニーが楽しく、イメージが次々とわいてきました。緑の濃淡を使って黄色を効かせた「森の木漏れ日」、色とりどりの「お花畑」、風が涼しげにくるくる回っている「かざぐるま」、真っ白な布に白い糸で模様を浮き上がらせる「ホワイトキルト」、季節を織り込んだ「シーズンキルト」、印象深い景色を図案化して「思い出キルト」等々。大きな作品は制作に 1 年以上費やすこともあります。その分出来上がった時の喜びはひとしおです。最初の作品はバスケットを中心にあしらった 1 メートル四方のひざ掛けで、何しろ 40 数年も使っていると糸が切れたり布が擦り切れたりしてきていますが、補修しながら今でも愛用しています。

パッチワークとは布をつなぎ合わせる事、その上布に薄く伸ばした綿と裏布を合わせて 3 枚を縫い合わせる事をキルトと言います。ラテン語でキルトは「物のつまった袋」という意味だそうです。

パッチワークはアメリカの開拓時代と結びついて広まったように思われていますが、ずっと昔、人々が貧しい暮らしの中で、ボロボロになって着

れなくなった衣服の使える箇所だけを切り取り縫い合わせて利用したのが始まりの様です。今で言うスーパーエコの精神です。マリア様もそんな手仕事をされておられたかもしれませんね。

パッチワークは一人黙々と作業をするイメージかも知れませんがグループで持ち寄り個性のあるそれぞれのパターンをつなぎ合わせ大きな作品作りをすることもあります。「ギルド」と言われ女性の社交の場でもあり、結婚や長寿のお祝いなどの記念



に、時には美術館などに寄付をしたりして楽しみを広げる事も出来ます。

現在では愛好家が沢山いて世界中でコンテストや展示会が開催されており、芸術的評価のされるアート作品、材料に金属やガラス、毛糸などを取り込んだ個性的な斬新な作品も増えてきました。

私は素朴な基本的パターンが好きで色柄の組み合わせなどを楽しんでいます。最近はベッドカバーや壁掛けなどの大きな作品作りの根気が無くなりもっぱらポーチやバッグ、キッチン用品などの小物作りをしています。

六甲教会では手仕事の好きな人が集まって、月に一度、第 1 水曜日に小物作りを楽しんでいます。バザーやふれあい広場で販売し売上金を教会へ寄付しています。コロナ禍で暫くお休みでしたが再開されましたら興味のある方は気軽に覗きにきてください。

## 《 図書室からのお知らせ 》

・パパ様がマルコ神父と行った対話集「CREDO」の邦訳が入りました。

\*\*\*\*\*

### 『CREDO クレド』 ～私は信じます、私たちは信じます～

教皇フランシスコ、マルコ・ボツツァ著 訳:阿部仲麻呂 ドン・ボスコ社刊

この『クレド』に関する著書は、三部作を構成する二冊『わたしたちの父』と『めでたしマリヤ』(どちらも日本語訳はまだの著書)とともに、コロナウィルスによるパンデミックとの長い付き合いの後に、わたしたちが想定しなければならない人生に立ち向かうための希望の言葉を提供してくれる。

—— 以上は巻頭にある「山野内司教の推薦のことば」よりの引用

「使徒信条」のポイントを新進の神父との対話によって読み解きます。またパパ様の講話も。「神を」「イエス・キリストを」「聖霊を」「聖なる教会を」「聖徒の交わりを」「罪のゆるしを」「からだの復活を」「永遠のいのちを」の8つの段落(回)と順を追って展開されています。

#### 《お願い》

教会に図書を寄付・寄贈される方は、信者や教会図書室利用者に、その図書の推薦文や、教会図書室に相応しい旨のアピールを添えて事務所に申し出ください。

またお気付きのこと、希望の図書等、遠慮なくお知らせ下さい。

\*\*\*\*\*

## 六甲教会あれこれ探訪

今年の枝の主日のために準備された枝は、400本！

これらは、毎年、六甲教会の信者さんやそのご家族など有志の方によって用意されています。今年は、8名の方の半日かかりの枝切に始まり、選別、持ち手にするために葉を落とす作業など、神父さまに祝別をいただく前にも多くの方々の活動に支えられています。日本では棕櫚は手に入りにくいので、蘇鉄で代用されることも多く、この時期、あちらこちらの教会の庭では、刈り取られた蘇鉄と新たな新芽に目を奪われます。



写真は、葉を刈り取られた蘇鉄(左)。そんな中にも新芽が萌えだしています(右)。教会内のどこに植えられているか、探してみてください。

★今年度は、日ごろ、目にすることの少ない活動や教会内のあれこれについて、紹介していきます。



## 《 ふれあい広場 》



4月3日（日）ミサ後、聖堂入口前で久しぶりに社会活動部のボランティアグループの一つ、「かなの家」を出店させていただきました。

「ラルシュかなの家」とは、知的障害を持つ人と持たない人が生活を分かち合う共同体で静岡県にあります。その支援のために、彼らが作っている石饅や、寄付して下さったアクセサリー、手作りケーキ、お菓子などを売り、お陰様で瞬く間に完売。

皆様のご支援に深く感謝いたします。ありがとうございました。 井川伸子 （社会活動部）

### 教会のご近所訪問 Green Sparrow

阪急六甲の駅と八幡神社の間の道を西へ、阪急のガードに来たら左折します。すぐ左手に「カフェと雑貨」と書かれた丸い看板が軒先に。入口の横にはかわいい植物の鉢が棚に並んで日差しを浴びています。お店の名は「Green Sparrow」。中に入るとフロアの右半分はカフェ、左にはこまごまとした

「雑貨」がいっぱい。「小さなミドリと小さなカフェ」がこのお店のコンセプトです。古安圭介さんと

育美さんご夫妻が2016年に脱サラして始めました。カフェは個性的でひとつひとつ優しい。プチバーガーセット、ぷち丼、きなこ玉とか、ほかのお店にはないようなメニューが目につきます。「小さなカフェ」と謳っているとおり、ボリュームは控えめ、でも手作り感あふれる工夫がこらされ、もちろん美味！ 雑貨コーナーは文字通りさまざまなグッズ、木彫りやガラス細工、壺、装身具、などがびっしり並んでいます。各方面の作家さんや、友人の方が持ち寄って来られているようで、ご夫妻の交流の広さが感じられます。店内はせまいけれど落ち着ける、いつまでも一人で過ごせるような雰囲気のお店です。



灘区八幡町 4-8-19 六甲 K.I ハイツ 1階

☎078-779-3554 9:00～19:00 水曜日休み

URL <https://www.greensparrow-rokko.com/>

### ◆編集部からのお知らせ

次号から「私の好きな聖書のことば」を掲載します。信徒のみなさまからの寄稿をお待ちしています。心に響いた「みことば」で、座右の銘としている箇所、または深い考察を要する言葉など。好きな理由は150字以内で。お名前も明記させていただきます。



## 主イエスの復活を称えよう

ご復活から少し日が経ってしまった。皆さんは蘇りの主との関りが深まり、喜びに満ちた日々を過ごして居られるだろうか。窓から教会の庭を見下ろすと、余りの変化に驚かされる。視界は緑の若葉にふさがれてしまい、見通しがすっかり悪くなりノゾキ見もできなくなった。銀杏の木には可愛いチイチャナ新芽が吹出し、桜に代わって藤の花が咲き誇り、サツキが賑やかに笑っている。また教会も新しい主任司祭を迎えて、彼の言・動に皆の耳はソバ立てられ眼を見張っている印象を受ける。まさに主イエスの復活は、春の訪れと共に大いなる一新の時、聖なる変化の時と言ってもよからう。

5月1日の第三主日の福音に目が留まる。ペトロが漁に行くとの言葉に、他の6人も異口同音に、「私たちも一緒に行こう」と答える。何でも無い会話であるが、なかなか意味が深いのではないか。自分たちの中で誰がいちばん偉いのかと言い争う弟子たち、イエスの右と左に座りたいという兄弟だけの願望、たとえ弟子の皆が躓いても、私だけはイエスを知らないなどとは言わないとの自信など、先生のみを慕う弟子たちの間に、我こそはという世俗的な功名心や先陣争いが絶えない。イエス亡き後になって、私たちも一緒に行こうという彼らの協力や協調の姿勢に驚く。奇跡的な大漁や不可思議なイエスとの出会い、さらには喜びに満ちた会食のモトイはまさにここ、イエスの復活の恵みに始まっているのではないか。

私たち現代のキリスト者にとって、イエスの復活は一体どんな意味を秘めているの

か。復活を生きるとは具体的にどんな呼びかけなのか。案外に「私たちも一緒に行こう」という一語に尽きるのではないか。時代遅れの古臭い教会、爺さんと婆さんが目につく教会、現代にイサマシク挑戦するアイデアにも意欲にも欠ける教会、児童虐待やパワーハラスメントを名指しで非難され賠償金で破産に瀕する教会、いつも陰口や不平不満が渦巻き人づき合いが難しい教会、金儲けや売名に忙しく時代にむしろ迎合する教会などなど、教会に対する非難や嘲笑はますます辛辣になってきたようだ。受難と復活のイエスを信じて彼と共に一緒に行く事によって、このような批判の矢面に立っているのか。それとも我々下っ端には関係が無く、ただお偉いさん方こそ全責任を取るべきだと逃げているのか。

私たちが現代の難しい問題に目を背け、考古趣味に堕して過去の伝統・遺物にすぎるのであれば、我関せずと無関心を決め込むのであれば、教会への嫌悪や攻撃はますます激化することだろう。しかしイエスが復活したからには、私たちは涼しい顔をしていられない、お門違いですと言下にはねつけるわけにはいかない。むしろ当事者として自らの不明と非力を詫び、自分なりの責任や使命を引き受け、復活したイエスと一緒に歩み行きたいものだ。

玉座に居ます方と小羊イエスキリスト

とに、賛美と誉れ、

栄光と権力とが、世々かぎりなく在りますように。アーメン。

合掌



## 【2022 年 5 月行事予定表】

・年間行事予定表に記載されているもので、当月開催未決定のものは本表中には入れていません。

| 日                               | 月  | 火                    | 水      | 木      | 金                                                      | 土             |
|---------------------------------|----|----------------------|--------|--------|--------------------------------------------------------|---------------|
| 1                               | 2  | 3                    | 4      | 5      | 6                                                      | 7             |
| 復活節第 3 主日                       |    |                      | 教会受付休み | 教会受付休み | 初金曜日ミサ<br>7:00 10:00<br>聖体顕示<br>10:00 ミサ後<br>◎東灘北 2、芦屋 |               |
| 8                               | 9  | 10                   | 11     | 12     | 13                                                     | 14            |
| 復活節第 4 主日<br>世界召命祈願の日<br>小教区評議会 |    |                      |        |        | ◎東灘南                                                   | 社会活動部<br>炊き出し |
| 15                              | 16 | 17                   | 18     | 19     | 20                                                     | 21            |
| 復活節第 5 主日<br>ふれあい広場<br>◎日曜班     |    |                      |        |        |                                                        | 春の黙想会         |
| 22                              | 23 | 24                   | 25     | 26     | 27                                                     | 28            |
| 復活節第 6 主日<br>世界広報の日<br>(献金)     |    |                      |        | ◎定期清掃  |                                                        |               |
| 29                              | 30 | 31                   |        |        |                                                        |               |
| 主の昇天<br>地区役員会                   |    | 聖母の訪問<br>ロザリオの<br>祈り |        |        |                                                        |               |

◎は掃除当番地区です。

|                                                                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                            |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>次回 6 月号の発行は 5 月 28 日（土）です。<br/>原稿は毎月 15 日ごろまでに教会受付へ直接ご<br/>持参いただくか、FAX やメールでお願いいたし<br/>ます。皆様からの原稿をお待ちしています。<br/>あわせてご意見もお寄せ下さい。広報部<br/><a href="http://www.rokko-catholic.jp">http://www.rokko-catholic.jp</a></p> | <p>六甲カトリック教会<br/>〒657-0061 神戸市灘区赤松町 3-1-21<br/>電話 078-851-2846<br/>FAX 078-851-9023<br/>E メール <a href="mailto:renraku@rokko-catholic.jp">renraku@rokko-catholic.jp</a><br/>発行責任者 英 隆 一 朗<br/>編 集 広 報 部</p> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|